

たすき

TASUKI

2025年
9月発刊 VOL.53



社会福祉法人 鶴済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
医療福祉支援センター
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131
<http://www.saiseikai-toyama.jp/>



眼科

当院眼科では、4月から常勤医が二人体制となりました。これまで同様、外来では眼科の一般的な疾患の診療のほか、レーザー治療や硝子体注射などを行なっています。また専門外来として、斜視・弱視をこれまでよりもコンスタントに診療できるようになり、幅広く、かつ多くの患者さんのお役に立てるよう環境を整えています。

手術についても、白内障や緑内障、硝子体手術に加え、斜視手術も当科で行えるようになりました。昨年度までは白内障を主に、入院・外来も併せて400件以上の手術を行っていました。今年度は二人体制の強みを生かし、手術件数の増加は当然の事として、より専門性の高い手術が可能になります。

また、自由診療ではありますが、小児の近視進行予防を目的とした点眼加療を行う事となりました。強度の近視の人は多くの眼疾患に将来的に罹患しやすいと言われ、社会的な問題として考えられるようになってきています。未来を担う子どもにも焦点を当てて治療にあたっていきたいと考えています。

地域の皆様のお役に立てるよう邁進していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

文責／眼科副医長 本多 祐樹



前列：左から
本多医師
片山医師
後列：左から
長谷川視能訓練士
野村視能訓練士
佐渡視能訓練士
富樫視能訓練士

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|----|-----------------------|----|--------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 午前 | 1診 | 本多 | — | 本多 | 本多 | 本多 |
| | 2診 | 片山 ※第4休診 | 片山 | 片山 | 片山 (第1・2・3・5手術) | 片山 |
| 午後 | 1診 | 本多 (予約検査) | — | 本多 (予約検査) | 本多 (第1・3・5予約検査) (第2・4手術) | 本多 (予約検査) |
| | 2診 | 片山 (予約検査) ※第4休診 | 手術 | 片山 (予約検査) | 片山 (第1・3・5予約検査) (第2・4手術) | 片山 (第1・4・5予約検査) (第2・3斜視・弱視) |

放射線技術科の紹介

当院の放射線技術科では、レントゲン撮影をはじめ、骨密度測定・CT(2台)・MRI(2台)・血管撮影・透視撮影(2台)・マンモグラフィ・RI検査を行っています。スタッフは各種認定・専門資格を取得した診療放射線技師が多数在籍しております。地域連携室と協力し、他院からのRI検査、MRIでは脳ドック等、CTでは心臓CT検査、大腸3DCT(CTC)等隨時受け付けています。今年の4月に新設された健康管理センターで行うマンモグラフィ検査では、3D マンモグラフィ(トモシンセシス)撮影も可能です。従来の2D撮影に比べてより多くの情報が得られ、乳癌の早期発見に有効な検査であり、健康診断時のオプションとして追加することが可能です。近年、予防医学への関心が高まる中、当院はマンモグラフィ施設画像評価認定施設の認定を更新しています。安心して検査を受けていただけるよう女性技師が担当します。また、当院は富山医療圏第二次救急輪番病院として救急診療を行っています。休日を含め診療放射線技師が院内で常に待機し、救急患者の検査に迅速に対応できる体制を整えています。地域の患者さんに安心して検査を受けていただけるよう、検査業務に取り組んでいます。



文責／放射線技術科 野村 菜月

がん看護専門看護師の取り組み

現代は2人に1人ががんになる時代です。医療の進歩により生存率は徐々に改善していますが、いまだにがんは死因の第1位であり、がんと診断されると死を意識する人が多いと思います。

私は、がんになっても安全・安楽に治療を受け、患者さんとご家族の心の揺れに寄り添い、その人らしい生活を送る支援を行いたいと考え、2016年にがん看護専門看護師の資格を取得しました。現在は主に病棟で入院中の患者さんと関わり、生活者の視点を大切にして思いを聴き、意向に沿った療養生活を送ることができるように多職種と連携して支援しています。また、緩和ケアチームに所属し、チームの意思や薬剤師等とがん患者さんの疼痛を中心とした症状の緩和を目指した介入を行っています。

近年ACP(人生会議)が注目されるようになってきていますが、なかなか自分の人生の最後について考えられないことが多いと思います。病気の診断や入院を機に考え、医療者だけではなく、ご家族や友人等自分の大切な人と繰り返し話し合っていくことが大切になります。自分は何が好きで、どこでどのように生きていきたいのかと一緒に考え、「自分らしく生きる」支援を続けていきたいと考えています。

文責／がん看護専門看護師 川部 恵



倫理コンサルテーションチームの取り組み

当院では、現在ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の推進に力を注いでいます。

入院時に「あなたの気持ちの確認用紙～自分らしい生活を送るために～」という用紙を用いて患者さんの大切にしていることや生き続けることが大変かもしれないというときにどのように過ごしたいと思っているかなど、いくつかの内容を確認させていただいている。ただ、まだまだ患者さんたちへの啓発活動が十分ではないため、その用紙の記載率が20%代と低迷しています。

そのため、啓発活動として今年の5月13日に当院の1階フロアで「ACPトークショー・相談会」を開催しました。そのときには、自分の最期をどうするかしっかり考え家族と話し合いをしている方はとても少数で、逆に全く考えたことがない方が大半で私としては驚きの結果でした。



医療者だから、常々様々な情報があり考えるのが当たり前と思っていたが、一般市民の方は、病を持ちながらも自身の最期をどうするかは、なかなか現実問題として捉えることができないことを痛切に感じました。

日本老年医学会は、今年6月に「高齢者の人生の最終段階における医療・ケアに関する立場表明2025」を発表しましたが、本人・家族から人生の物語り(narrative)を聴き、本人の生活と人生の視点からみていくのが最善の未来像なのかをともに探るべく対話を重ね、意思決定プロセスをともにたどることが重要であると示しました。人生の最終章、年だからということではなく、患者・家族が良い人生であったと思えるように日頃から患者・家族の思いに寄り添い、その人にとっての最善を考えることができるよう、倫理コンサルテーションチーム活動を活発に展開していきたいと思います。

【10/29(水)ACPに関する地域連携の会を予定しています。】

文責／副院長・看護部長 濑山 尚子



院長コラム Vol.2

実る稲穂に想う

55年前の大坂万博では、月の石を一目見ようと、大行列に並んだ記憶がある。開催中の大阪・関西万博では、iPS細胞から作られたミニ心臓が拍動していると聞く。誕生から20年足らずだが、iPS細胞は臨床応用が始まり、心筋シートを用いた重症心不全の治療にも一定の効果を上げているようだ。

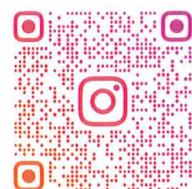
中山教授の発表以前にも、多能性幹細胞に関するさまざまな報告があった。中には成果を急ぐあまり、不十分なデータに基づいた誤った報告もあり、いくつかの論文が検証の末に取り下げられた。

数値として現れるデータは、時に大きな影響を及ぼすので正確さが求められる。海の向こうの国では、雇用統計が下方修正されたことにより、景気悪化が懸念されて株価が急落した。驚いたのはその直後、大統領が統計を取りまとめた職員の解雇を命じたという報道だ。不正があったのなら理解もできるが、気に入らない数値を封じるための措置だとすれば、あまりに乱暴である。一時の感情に左右される人物が核のボタンを握っているかもしれないと思うと、不安がよぎる。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」。猛暑で今年の実りも心配だが、謙虚であるべき立場の者にこそ、思い出してほしい言葉である。



院長 亀山 智樹



TOYAMA_INCHOU

Instagram
はじめました!

医療福祉支援センターをご利用ください

当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。
予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

診察予約の流れ

1 医療福祉支援センターへお電話ください。

(直接、診察申込書をFAXしていただきても結構です。)

2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。

※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。

3 診察申込書をFAXください。

確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

検査予約の流れ

1 医療福祉支援センターへお電話ください。

2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。

3 診察申込書をFAXください。

確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

検査予約時間

| CT | 心臓CT |
|---------------------|---------------|
| 10:00~11:30 (火・金以外) | 月 14:00~15:00 |
| 13:30~16:30 (月・水) | 火 14:00~14:30 |
| RI | |
| 8:30~11:30 (月~金) | 水 14:00~15:00 |
| 13:30~16:30 (月~水) | 木 14:00~14:30 |
| MRI | |
| 13:30~16:30 (月・水) | 金 14:00~15:00 |

令和6年4月以降
CT・MRI検査予約枠
変更となりました。
ご了承ください。



富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1101(直通) FAX 076-437-1131(直通)

ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- ・地域住民の健康寿命の延伸
- ・健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- ・働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- ・生活困窮者支援の積極的推進、ソーシャルインクルージョン、誰一人取り残さず寄り添う心
- ・地域住民、医療・看護・介護関係者に信頼され選ばれる、持続可能な病院
- ・予防医学、救急・急性期医療、回復期リハビリテーション、慢性期医療、訪問看護、在宅医療支援、大規模災害時までカバーする切れ目のない医療体制の構築
- ・働く職員の笑顔があふれる、働きやすい、働きがいのある病院

患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

①患者さんの権利

- ・個人としてその人格を尊重される権利
- ・質の高い医療を公平に受ける権利
- ・十分な情報を知り、説明を受ける権利
- ・選択の自由と自己決定する権利
- ・プライバシーが守られる権利

②患者さんの責務

- ・自身の情報を正しく提供する責務
- ・診療行為に協力する責務
- ・療養に専念する責務
- ・マナーや規則を守る責務
- ・医療費を支払う責務